

# 研究協力をお願い

昭和大学および昭和大学藤が丘リハビリテーション病院では、下記の臨床研究(学術研究)を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

大学ラグビー選手の腱板機能、肩甲骨上方回旋機能および胸郭機能の経時的変化

## 1. 研究の対象および研究対象期間

2016年4月1日から2022年3月31日までに本学スポーツ運動科学研究所でメディカルチェックを行った大学ラグビー選手のうち、肩関節に疼痛がなく上肢最大挙上が可能であり、また、選手背景(年齢、身長、体重、既往歴、ポジション)、腱板機能、肩甲骨上方回旋機能、胸郭機能が測定可能であった選手を選択基準とします。

## 2. 研究目的・方法

ラグビーは激しい身体接触を伴うコリジョンスポーツの一つであり、他の競技と比較して肩関節傷害の割合が高いとされます。肩関節傷害の中でも外傷性肩関節脱臼はラグビー選手に好発し、脱臼の有無は選手のパフォーマンスにも影響します。このことから、外傷性肩関節脱臼を予防することはラグビーを行う上で重要となります。外傷性肩関節脱臼に関する要因としては、腱板機能低下や肩甲骨上方回旋機能低下、胸郭機能低下があげられます。また、学年が上がるにつれて試合に出場する機会が増える可能性があります。腱板機能や肩甲骨上方回旋機能、胸郭機能が改善していないと、外傷性肩関節脱臼の危険性は高くなります。しかしながら、大学ラグビー選手の腱板機能や肩甲骨上方回旋機能、胸郭機能を経時的変化を検討した報告はありません。腱板機能や肩甲骨上方回旋機能、胸郭機能の経時的変化を明らかにできれば、外傷性肩関節脱臼予防に役立つことができると考えております。

そこで本研究は、本学スポーツ運動科学研究所で実施している大学ラグビー選手メディカルチェックデータを利用し、腱板機能、肩甲骨上方回旋機能、胸郭機能を大学1年次と大学2年次で比較し、各機能の経時的変化を明らかにすることを目的とします。

2016年4月1日から2022年3月31日までにスポーツ運動科学研究所でメディカルチェックを行った大学ラグビー選手の診療情報を利用します。選手背景(年齢、身長、体重、既往歴、競技歴、ポジション)、レントゲン画像から検討可能な腱板機能、肩甲骨上方回旋機能、胸郭機能を調査項目とします。

腱板機能は45°外転位での画像を利用します。肩甲骨関節窩上縁と下縁の距離を測定します。さらに、上縁と下縁を結ぶ線分に対してのそれぞれの垂線(垂線A、B)を引き、垂線A上での関節窩上縁と骨頭間距離を測定します。また、垂線B上での関節窩下縁と骨頭間距離を測定します。肩甲骨上方回旋機能は上肢下垂位と上肢最大挙上位、45°外転位での画像を利用します。上肢下垂位と上肢最大挙上

位での画像では肩甲骨関節窩上縁と下縁を結ぶ線分と単純X線両肩正面像下端に対しての垂線がなす角度を測定します。また、45°外転位での画像では、肩甲骨関節窩上縁と下縁の距離を測定します。さらに、上縁と下縁を結ぶ線分に対してのそれぞれの垂線（垂線A、B）と画像下端に対しての垂線（垂線C）を引き、垂線A上での関節窩上縁と垂線Cとの距離を測定します。また、垂線B上での関節窩下縁と垂線Cとの距離も測定します。胸郭機能の測定は上肢下垂位と上肢最大挙上位での単純X線正面像を利用します。画像上での左右第1胸椎椎弓根上縁を結ぶ線分の中点と左右鎖骨近位端上縁を結ぶ線分の中点の距離を測定します。

### 3．研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2025年3月31日まで

### 4．研究に用いる試料・情報の種類

2016年4月1日から2022年3月31日までにスポーツ運動科学研究所でメディカルチェックを行った大学ラグビー選手の診療情報を利用します。選手背景（年齢、身長、体重、既往歴、競技歴、ポジション）、レントゲン画像から検討可能な腱板機能、肩甲骨上方回旋機能、胸郭機能を調査項目とします。

### 5．外部への試料・情報の提供

本研究で取得した診療情報は研究責任者が個人の氏名、生年月日、電話番号、また診療情報等の個人を識別できる情報を削除し、研究用のIDを付与することで符号化します。符号化した診療情報は昭和大学藤が丘リハビリテーション病院の外部から切り離されたコンピューター内にそれぞれ保存され、研究者のみがアクセス、閲覧できるようにします。

### 6．研究組織

研究責任者 藤が丘リハビリテーション病院 阿蘇卓也  
研究分担者 昭和大学スポーツ運動科学研究所 田村将希

### 7．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学藤が丘リハビリテーション病院リハビリテーションセンター

氏名： 阿蘇卓也

住所： 神奈川県横浜市青葉区藤が丘2丁目1番1号

電話番号： 045-974-2221/3635(内線)